

軒先に色鮮やかな鯉が泳ぎ
多くの旅人や牛市の博労が行き交った
江戸時代の陣屋が残る宿場町

裏路地探検

宿場町のなごり、鯉の里／養父町・養父市場

江戸時代からの陣屋屋敷が現存し、鯉の里として知られる風情を伝える宿場町、養父市場。昭和37年、谷間地峠へ国道9号線が移設されるまでの旧国道沿いには、白壁や土塀、格子や化粧壁が施された重厚な趣のある民家と、昔ながらの店構えが残る商店街が交錯する。旧養父町の中心として賑わい、早くから造り酒屋が存在し、明治から昭和初期頃にも、醸造、生糸、旅館、飲食など数多くの店が軒を並べていた記録が残されている。

古くは農神と仰がれてきた養父神社へ続く道、江戸時代には、大名の参勤交代が通った出石藩へ向かう分岐点にあり、山陰道として、村岡藩や豊岡藩も利用したといわれる。陣屋屋敷には、殿様が江戸の行き帰りに宿泊された上座といわれる一段高い座敷造り



光明院跡で賑かで神々しかった千体仏の話聞く
大橋正明(道智居士)夫妻のお墓

千体地蔵の祠の跡
正面に延命地蔵
両脇に4体の菩薩
三方に白木の手彫りの地蔵尊1000体が祀られていた

光明院跡

養徳寺

光明寺跡

山づたいに流れる下がり水
4本目の水路

かつての造り酒屋

鯉の養殖 陣屋屋敷

かつてはリンゴ園
牛のセリ市場があったところ

おいしい牛肉のお店

鯉の溝飼い

養父駐在所

養父コミュニティセンター

陣屋前の三叉路
これより北
出石領の石碑

重厚な表情を持つ家並み

鯉の溝飼い
道路の反対側にもいくつかの溝飼いがおこなわれている

和牛専門の装飾店
和牛の鼻木などを扱う品評会用には飾りをつける

牛市へ向かう路地

陣屋屋敷の前で

至養父神社

養父郵便局

右、京・大阪・はりま
左、いつし(出石)の道しるべ

鯉の観賞池

養父駐在所

陣屋屋敷の前で

至養父神社

養父郵便局

右、京・大阪・はりま
左、いつし(出石)の道しるべ

鯉の観賞池

和牛専門の装飾店

牛市へ向かう路地

陣屋屋敷の前で

至養父神社

養父郵便局

右、京・大阪・はりま
左、いつし(出石)の道しるべ

鯉の観賞池

和牛専門の装飾店

牛市へ向かう路地

陣屋屋敷の前で

至養父神社

養父郵便局

右、京・大阪・はりま
左、いつし(出石)の道しるべ

Time is Money. —時は金なり—

あなたの時間を有効に

たんぎんダイレクト

インターネットバンキング
モバイルバンキング
テレホンバンキング

いつでも どこでも あなた自身が銀行です。

地域とともに発展する

但馬銀行

<http://www.tajimabank.co.jp/>

